

令和5年度 根室市予算編成要綱

1. 国の動向等

国は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進し、感染症の再拡大と原油価格・物価高騰など直面する課題への対応、新しい資本主義の実現に向けた「人への投資」を推進するとともに、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化している。

地方財政においては、持続可能な地域社会の実現等の重要課題と自治体DXの推進、また、社会保障関係経費の増加が見込まれるなか、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額については、2022年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することとされている。

2. 根室市の財政状況

当市の財政状況は、人口減少や市中経済情勢の長期低迷により、歳入の根幹をなす、市税及び地方交付税に多くを見込めない状況にあるが、ここ数年の決算状況においては、財政調整基金等の取り崩しを回避し、財政の健全化を堅持している状況にある。

しかしながら、急務である千島海溝沿い巨大地震に対応する防災・減災対策を始め、老朽化した公共施設の更新整備、長期化する感染症拡大と原油価格・物価高騰対策など、今後も多くの行財政需要が見込まれ、将来的な財政運営の悪化は避けられないものと予測される。

このことから、行財政改革プランを着実に推進し、社会情勢の変化を的確に伝えるためにも、将来展望に立った徹底した見直しに取り組んでいかなければならない状況にある。

3. 基本的方針

コロナ禍からの社会経済活動の回復を目指す市中経済にあつて、物価が大幅に上昇する状況は、市民生活や市中経済に影響を及ぼすものであり、産業、福祉、医療、子育て支援施策を始め、防災・減災対策機能の強化など、山積する課題解決に向け全力で取り組まなければならない。

このような中、各部より取りまとめた収支試算では、構造的に経常的経費の負担が増大化している状況にあり、地域医療の安定化、子育て応援施策の充実、足腰の強い産業基盤の確立など「ふるさと根室」創生の大きな活力となる事業に、ふるさと応援関連基金の積極的な活用を図ったところではあるが、収支試算段階において、財源の不足が見込まれる状況にある。

このことから、令和5年度の予算配分については、経常歳出は「完全割当方式」、臨時歳出についても「枠配分方式」を引き続き継続するが、各部の創意工夫を最大限に発揮し、効果的・効率的な活用により、配分された一般財源の範囲内で予算要求を行うことなどにより、財源不足の解消を図るものとする。

「ふるさと根室」を次の世代へと繋ぎ、市民誰もが住み慣れた根室で生き生きと暮らすことのできる街づくりのため、6つの政策目標を柱に施策を展開し、現状の課題認識と社会情勢を的確に捉え、「第9期根室市総合計画」など各種計画に基づき、将来にわたり持続可能な財政運営を目指し、「故郷・根室の未来を切り拓く」令和5年度の予算を編成するものとする。

予算要求の原則については次のとおりとする。

区 分	予 算 要 求 基 準
経 常 費	別途通知する一般財源配分通知額に基づき要求。
臨 時 費 (投資的経費含む)	別途通知する一般財源配分通知額・要求可能事業通知書に基づき要求。 上記のほか、総合計画、総合戦略の目標達成の効果が見込まれる施策の要求の適否については、総合政策部及び財政課との協議を経て要求。

(注) 事務事業の要求にあたっては、各種計画等との整合性を図る観点から、計画を所管する課と充分協議を行うこと。

◆経常費の一般財源配分額については、令和4年度当初予算額をベースとし、更に経費の圧縮を図るため、削減を予定している。

◆臨時費については、「令和4年度 財政収支試算」をベースとして財政課で精査した額で配分枠の通知を予定している。

◆その他、経常・臨時事業ともに、事業数の増加がみられることから、「第9期根室市総合計画」等との整合性を図り、統合・廃止等を含め検討すること。